

令和6年いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び1年間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	住環境(ハード面)は充足したのではないかと。一方で居住地が変わった方は、コミュニティが変わり、心の面では充足していない人もいるのではないかと。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	三陸沿岸道路の開通により利便性が向上した一方で、市内への回遊が少ないと感じる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	仮設住宅もなくなり、新しい住宅もほぼ建っているように見える。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	震災前に住んでいた所の方々と、たまにスーパー等で会う事がある。そんな時、生活も安定されている様子が見受けられる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	東日本大震災の津波で被災したハード面はほぼ復旧され、被災地前より環境が良くなったと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	・住宅の再建も現在も着手している所も見られる。 ・復興工事車両を多く見かけなくなった。 ・反面、これからの高齢化社会において様々な課題に直面することは、近々の問題になっていくと思う。 ・災害公営住宅も、条例改正により、値上がりする等、空き家・空き室問題に直面するのも予測される。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	現在私の住んでいる山田町中心部の飯岡・長崎地域内、仮設住宅で住んでいた北地区(北浜・関谷・柳沢)は、住宅建設ラッシュがほぼ終わり、住環境が整った。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	以前と同じになってしまうが、被災者と言わなくなった。震災を理由とした話も特に聞かない。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	公営住宅等に入居、又ポツポツ再建も見られ、各自落ち付いた暮らしを取り戻した感じが見受けられる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	普通の生活をしている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	日常生活はほぼ戻り、震災の話題の話が減ってきた。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	・高齢化がすすみ、高齢者が亡くなっている。 ・復興関連事業が終了し、働く機会を失った人が多い。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	再建した土地で何の問題もなく落ち着いた生活を送っている様に見える。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	被災者の住宅再建、雇用等、落ち着いたように思われる。商業施設も整い、生活も落ち着いてきていると思う。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	住宅・インフラ等、震災後ハード面は回復したと思う。被災地に住む人たちの生活も安定してきていると感じる。その分、別の課題(少子高齢化、空き地問題等)が顕著になってきており、市全体として考えていく時期ではないだろうか。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	住宅が以前より増えてきた。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤工事や三陸沿岸道路など、生活が安定しているように感じる。震災前よりも大幅に利便性が高くなっているが、人口の流出や高齢化が一番の課題だと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	三陸沿岸道路もあり、人々や物流も活発になり、特に日曜日等の道の駅での人は多く感じられる。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	(1)及び(2)について、地域の生活自体については震災前と同程度に回復してきた。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	心中には消えない記憶としてあるのかもしれないが、日常会話に「津波」「震災」というワードを聞くことがほとんどなくなったと感じる。今は物価高による景気に左右されている生活をしていると思う。震災関係の職種は補助金の打ち切りなどが聞こえている。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	復興住宅から退去される方が増えたことから、生活が回復(収入含め)したように感じている。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	生活は回復していると感じる。沿岸地域の人口減少が大きな問題であり、対策を急がれる事が必要と思われる。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	前回、回答したとおり。被災者の住宅再建はすでに終了している。公営住宅に入居している方々は高齢で、新築はないと思われる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	復興に続く、地域の課題の解決に向けて、地域全体で取り組んでいる状況が見受けられる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	生活の回復は災害後に比べて安定している。むしろ物価高騰で復興とは関係のない領域となっていると思う。それにともない、店の閉店などで低迷の方だと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	日常の暮らしぶりについては、表向きはほとんど被災の影響は感じられない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	住宅の暮らしの再建に向けた復旧復興対策は概ね完了していることから、今後はこれまで以上に住民が安心して暮らせる生活環境の向上や地域コミュニティの維持、形成を図ることが重要となる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災後13年が経過し、被災者の生活については一段落したと感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災から13年過ぎて、すこづつ住宅がたってきた。それでも、まだまだ空地や売地が多い。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	表面的には進んでる様には見えます。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	生活環境は整備され、日常の生活は回復した。地域内の人口減少が大きく交流がなく活気がない。地域の街づくりに積極的に取り組んでほしい。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	まわりは空地が多い。震災の時の政権が悪かったのでは？ゼネコン優先の政策はだめだろう。高台移転とか土地のかさ上げより、その場所での住宅を再建したほうが金がかからなかったのでは？
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	市長が変わったから。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	復興道路、住宅、防潮堤などが完成している。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	被災者は家を再建し、自分たちで自立した生活を行っている。さらに、仕事にも就き、少しずつ安定した生活を送っているように感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	コロナ禍で制限されていたことが徐々に緩和され、人流も活発になり、経済がまわりだしたと感ずるところもある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	見た目での回復は見られていると思いますが、それまでに受けた(経済的)損失は補いきれないかと。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	周囲には被災した知人がいないが、海岸沿いにあった飲食店が、以前と同じように営業し、繁盛しているように見受けられる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	震災回復に向かっているところで、新型コロナウイルスも加わり、事業所の破綻など生活の回復にブレーキがかかったように感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	被災の前と比べ生活は、ほぼ回復したように見えるが、実際被災者の胸の内は解りかねる。ただ、仕事柄被災者の方と話す機会も多く、垣間見える笑顔が逆にこちらを元気づけてくれる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	住宅、道路など生活環境は回復している。これからは、雇用の創出の面で企業誘致をして、人口流出しない政策が必要だと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	・住環境の面では、新築住宅の着工数も少ない事から回復したといえる。 ・生活に関しては、コロナも収まり夜に出かける人も多くなったが、コロナ以前までは戻っていないと飲食店の方々は言っている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	すでに住環境はある程度整備されているので、被災した方々の生活に特に変化は見られないと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	震災後に回復した生活が、新型コロナウイルス感染症や物価高の影響で逆戻りした部分があるように感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	事業者はゼロゼロ融資(実質無利子、無担保)をはじめ、各種支援プログラムが縮小・終了する中、支援策に依存してきた先のあきらめや、従来からの放漫経営等の顕在化により、休業や法的整理に移行するケースが増加している。コロナ禍では最大3年間の猶予を受けることができた社会保険料(厚生年金保険料)の支払猶予期間が終了したこともあり、滞納による差押えが増加している。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	震災の影響だけではないと思われますので、引き続き被災者の支援は必要と思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	年齢による事由なのか、大きな変化はない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	女	目に見える部分は回復したと感ずるが、目に見えない心、気持ちの部分は、まだまだの方々もいらっしゃるだろうと感ずる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	震災での再建はほぼ済んだ様に思う。不景気への対策を考えた方が良いと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	女	一時は持ち直せた実感はあった。最近起きているさまざまな事は、生活に影響していると思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	被災者も落ちつき平穩に暮している。物価高、コロナ、原油価格の影響により、被災前より生活が苦しくなっている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	1年間を通じてあまり変化が感じられない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	・被災前を基準とすると、十分とは言えないと思う。 ・ここ1年に限定した場合、収入に対する物価の上昇の割合が高い影響を受けている被災者が多いと感ずる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	進んでいる(回復された)方とそうでない方との差が広がっているように感ずる。高齢者の割合やその方の気持ちの面などが要因として考えられる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	自宅を再建して生活できている人もいるが、災害公営住宅に住み続け、自宅を再建できない人もいる。震災についてあまり口にする人はなくなったが、まだ免除申請を申し出る家庭もある。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	ある程度回復しているので、最近の変化はあまり感ずない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	男	被災当時に余裕がなかった親の元に生まれた子の療育に影響があるように思う。子ども世代は被災してなくても、感ずることがある。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	自分自身の生活は、震災前と変わらない生活を送ることができている。しかし、周囲の方とそのような話をするとはほとんどなく、何とも言えないと思っている。 震災のことがあまり語られなくなってきており、私自身、この結果報告を読み、それぞれの方の思いや状況を知っているところである。 常にアンテナを高くし、周囲の方々の思いや状況に注視していきたいと思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	仕事内容で被災者の方々の現状にふれる機会があったため。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	震災10年以降は、目立って生活が回復したと感ずられなくなった。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	・ここ1年間でも、被災地域にも、家が建つようになった。 ・介護業界は慢性的な人手不足。給料が安い為、若い人材の定着率も低い。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	1年前と大きく変わったという実感はない。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	住環境は整っているものの、コミュニティの再建は引き続きの課題であると感じる。定期的な集まりを設けるなどは続けるべきではないかと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	制度毎の狭間や、震災―コロナと大きな社会動態の中で、可視化された課題や問題、支援体制の急造による人的な弊害を感じる様になった。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	サケ、アワビ等の漁獲高が減り、景気は良くないが、震災からは時間が経過しており、生活はほとんど回復した。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	10年以上が経ち、周りを見ても特に変化はない。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	居住施設の再建や道路等のインフラ整備がほぼ完了しており、住環境の面では回復したものと捉えている。一方で、進捗状況という目線では、インフラ整備の完了もあり、この1年間の進捗はあまりないものと感じている。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	日常生活については震災の影響はほぼなくなっているが、失われたコミュニティはどうしても回復は出来ないでいる。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	原油の高騰により、ガソリンや漁業資材の値段が上がって生活が厳しい中、処理水の海洋放出の風評被害が心配だ。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	回復したのでこれ以上はみこめない。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	外面的には、仮設から自分の家に住めるようになり、生活は回復したと感じるかもしれないが、被災前の生活まで回復したかというどちらとも言えない。心の回復はできていないのではないだろうか。と感じることがある。被災前の生活には戻ることが現実的に無理がある。
わからない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	上記質問内容にはもう限界がある。復興事業はほぼ終了している、今以上回復することはないと考える。
わからない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災の影響は感じなくなったが、温暖化による海水温の上昇により、サケ等の漁業の不振、最近ではホタテの被害が深刻と聞いている。あまり出歩かなくなったので、ここ1年間の回復の進み具合は分からない。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	震災前との単純な比較が難しい。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	新しいコミュニティ形成は、まだまだ出来ていない。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	被災による部分の回復がみられる中、コロナ禍のダメージがあり、被災前との比較が難しい。

II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び1年間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	水産業者にとって、震災前は、漁業経営者も多くあった。しかしながら、高齢者または後継者のない漁家は廃業の道しか選択肢がなく、非常に残念なまじりである。しかし再開した漁家は震災前は規模拡大したくてもできなかったの現状であった。したがって現在は希望する経営規模が容易になり、今後は地域産業の発展として一役を担って戴きたいと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	☆水産商工業施設の復旧復興工事が進み、外観的には復旧復興がなされたようである。 ★地球規模の温暖化現象で、暖流系の魚種が多くなつたが、漁獲量は少ない。親潮系の魚種が不漁であり漁船漁業・定置網漁業が不振となっている。 ★浅海漁業では、海藻の繁茂が少し回復し、ウニ漁が回復好調であった。アワビ採捕漁業は、久しぶりにマダコ繁殖活発になり、その食害で生産量が減少。併せて、原発処理水の風評被害もあって中国輸出規制で価格が下落した。 ★浅海養殖業(ワカメ・カキ・ホタテ貝)は、好調である。 ★商業関係、商店街にあつては、コロナ化で飲食業が打撃を受けて倒産もあつた。但し、①コロナが第5類となり、②また、三陸道山田中央IC付近柳沢地区に新道の駅「やまだオイスタ」が、本年初夏に開業し、三陸道を利用した観光客の集客もあり、やや景気が向上した。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	水産業では魚種の変化、不漁に、資材と燃料の価格上昇で厳しいが、地域経済としては回復してきている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	・水田等が復旧し、新しい品種(銀河のしずくetc.)を取り込み、わずかであるが生産が高くなってきている。 ・道路環境が改善され、良くなってきている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	町の地域経済は回復しているけど、去年と比べると何の変化もなく、ただ維持しているだけだと思う。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	設問が「被災前と比べて」とあるが、全てを震災前と比べることが難しいと感じる(人口減少・基幹産業の変化等)。現在の状況において「回復した」と考えざるを得ないと思う。コロナが5類に移行後、様々な催しも開かれるようになり、経済が回ってきたように感じる。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	経済状況は震災前と比較すれば回復したと言えると思う。しかし、人口減少や景気の悪化により、今後の沿岸地域の経済の先行きは不安が大きい。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	復興に向けて進んできた歩みは、コロナ禍の影響下、後退した。ここからどう回復していくかに皆、悩んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	全体としては、落ち着いた状況と感じられるが、建設業関係は低迷していると思われる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	地域経済は回復へ向かっていると思いますが、まだ、外食などは戻ってはないと思います。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	店舗も数える位しかなく、ほとんどスーパーで買い物は終わる。町民は今、幸せの毎日を暮らせる事は皆様からの温いお心を頂いたからと深く感謝致している。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	人がいないので回復のしようがない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	大型商業施設や周辺の飲食店等も増え、活気は出てきていると思う。また、イベント等もあり、中心部は賑わいを見せている。ただし、中心部から離れると人口の過疎化、高齢化が進み、店舗等も少ない為、買い物、通院等不便な地域も見られる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	以前より確実に回復していると思うが、以前より充実しているかということ、そこには届かないかと思っている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	様々なイベントが開催されるようになり、人も集まるようになってきている。酷暑の夏だったため海水浴に来る人も多かったように思う。新しくキャンプ場も出来、にぎわってくるのではないかな。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	若い人や子育て世代の人たちが増える街作りを目指さないと回復は難しい状況にある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	以前とくらべて、外食や夜の飲食する人たちが増えてきたと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	(1)及び(2)について、復興道路関連事業の完成により、物流や人的交流が活発になり地域経済にとっては良い方向に向いてきた。コロナ等感染症の影響が緩和され、人的・物的にも交流が回復たと報道されているが、この地ではその恩恵はほとんど見られない。逆に資材や燃料の高騰による影響の方が大きいと感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	震災によることより、物価高で困る状況と思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	コロナに加えて気候変動による漁獲量減少や物価高の影響で逆戻りした部分があるように感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	生産体制、基盤整備によりハード面は整ったものの、サンマなど主要魚種の不漁や急激な公共工事の減少、コロナ後も宴会の減少が続くなど要因は震災によるものではなくなっている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	震災前と比較すると地域経済は一時緩やかに回復の兆しを見せたが、コロナの影響や資材、燃油、人件費等の高騰の流れを受けて、下降局面に移行している。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	・新型コロナウイルスの影響が長引いているほか、燃料や資材等の原料価格の高まりにより、地域経済の回復が心配される。 ・慢性的な人手不足が深刻化する中、雇用賃金の上昇等事業者の経営環境は一層厳しさを増すものと思われる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	コロナのせいかもしれないが、最近シャッターを閉めてる店が多い気がする。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	漁業中心の町ですが、後継者が少なく、将来が心配される。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	山田町に新しい道の駅ができた。TV等で紹介されているのを見る。実際どれ程の人が来ているのかは分からない。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	復興需要や復旧工事での人口増で経済も活気があったが、現在はそれらが終息したことや、農・漁業等の不振、コロナウイルス感染拡大等で観光人口も激減、アフターコロナでのインバウンドも当地域には無い状態である。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	女	町は整備され、きれいになって住みやすくなった。行政や企業が一緒になり、いろいろな提案があって良くなったところもある。気候変動で第一次産業の方は大変苦労なされていると思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	被災した商業地域からの高台団地等への移転等のため、これ以上の回復はありえない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	ここ数年の水産業はとても厳しい状況にあり、震災前とは比較できなくなっている。サケの不漁、ウニ・アワビの水揚げ減、ホタテのへい死、ワカメの病気等で漁師はとても大変な状況である。震災前と比べてどうこうという感じではなくなっている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	サケの不漁により沿岸地域、漁協の経済は壊滅的。漁協の再編、合併はさけられない状態。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	コロナとかいろいろな理由で飲食店が閉店したり休んだりしている店がある。天候不順で作物や水産物が良くないので、来年は大変だと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	女	漁業関係の不漁。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域経済はかなり低速しているが、若年層の減少によるものと、物価上昇による個人消費の減少と思われる震災との関連はないと思われる。また、水産業は中国の輸入禁止と海水温の上昇による影響でかなり疲弊しているが、これも震災関連とは言えない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	コロナ禍の影響、人口減少、後継者不足で閉店した店ばかりのシャッター商店街など震災のせいばかりではない状況が見られる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	ここ一年何か新しく進んだという感じはない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	この地域で生活している限りでは、以前と変わらないように見えるが、水産業や商工業に携わる方と直接話すこともないため、一概に回復したとは言えない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	地域経済の回復策が知れ渡っていないのか、実感が湧かない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	商業施設等はほぼほぼ回復したと思う。が、被災エリアにできた空地の利用が今後の課題かと思う。水産関係は震災とは別の理由で、足踏み、もしくは後退しているのかも？
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	特になし。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	・震災前よりは回復したようにみえる。 ・水産業も不漁が続いていて元気が無い。沿岸は水産業が活発でないと元気が無いように感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	コロナも治まり旅行者が徐々に増えはじめていると感じる。震災の影響はあまり感じなくなったが、少子高齢化による人口減少などで地域経済が落ち込みはじめていることが懸念される。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	少しずつ回復しているとは思いますが、被災前と比べてのにぎやかな町並みとは感じられない。震災以外の要因(ウクライナ情勢)等もあるし、物価高もあり、回復の進み具合はもたついている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	地域経済は落ちこんでいると思うが、震災の影響ではなくなっていると思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	問1と同じ。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	ここにきて、製造業などで解雇の動きがみられている。次の就職先に製造業のようになり返しの作業をのぞむ方も多く、なかなか次の仕事さがしに苦戦している感じがする。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	建設業関係は仕事が少なくなり、そのおかげで関連会社の仕事も減ってきている。飲食業もコロナ前まではまだ戻らず、代行業者も利用客が少ないので、その分料金が値上げになっている状況。震災関連の仕事が無くなった為、今後ますます経済活動が冷えこむ可能性がある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	ピーク時から低下している。安定を越えて劣化していると思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	・水産物の漁獲高は減り、単価も安くなっている。震災の影響とは別に、景気対策をお願いしたい。 ・震災の影響というより、コロナや中国の輸入規制による、水産物の単価安等が問題。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	震災の影響が分からないが、魚がとれず水産業が大変そうだ。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	被災の影響と、それ以外の経済要因による影響との区別が良く分かりにくいところがある。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	営業基盤の主体となる大槌町に関しては、漁獲量の低迷、人口流出、高齢化進展等の複合要因もあり、経済規模が縮小している印象が強い。また、地域の有力企業が内陸部に活動拠点(含む本社移転)を移している点も全体的な回復が感じられない要因の一つと考えられる。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	三陸道の開通により、人や物の大都市圏の流出が懸念されますので、自治体、商工業者連携しての取り組みが必要と思われます。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	女	「閉店のお知らせ」というチラシや貼り紙を見ることが増えた気がする。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	サンマ、サケ、スルメなどが不漁。建設業、飲食店などの閉店がある。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	令和3年7月調査とほぼ同じ理由のため。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	以前(震災前)に比べると店舗等商業施設がなく、これからもなんらかの施設が来るとは思えない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	各種食料品をはじめ、物価の高騰が庶民の生活に少なからず影響していると思う。更にはコロナ禍やインフルエンザへの警戒感もあり、高齢者の方々も外出や交流が減っている。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	世界情勢の変化により商品の値段が出荷する物は安く、購入する物が高くなっている。気候の変動も関係しているのでは。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・三陸道の開通で岩手県からほかの県に行く人のほうが多く感じられる。 ・子どもも少なく、さびしく感じる。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	・今年度、地元の企業の倒産があつたり、物価上昇が続いていたりしているため、経済活動は、後退していると感じる。 ・物価対策を早急に行わないと、更に悪化していくと思う。 ※地方ほど収入が上昇していないように感じるので…
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	水産業の不振が大きい。漁獲量の減少は、浜全体の活力を奪っている。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	現状は震災の影響より、別の要因の方が大きいのではないかと。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	物価高で地域経済に与える影響は大きいと思う。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	当地区は建設業が多く、三陸沿岸道路の開通により復興事業等の公共工事の激減により各企業の体力が疲弊してきている。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災の直接的影響とは言えないが、地球温暖化にかかる海水温の上昇による漁業の不漁、水産関連企業や金型・コネクタなどの製造業の不振等地域産業が低迷している。また、沿岸部の有効求人倍率も昨年度と比較して落ち込んでいる。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	農林水産業の現状はむしろ震災前より悪くなっている印象です。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	原油の高騰により、ガソリンや漁業資材の値段が上がって生活が厳しい中、処理水の海洋放出の風評被害が心配だ。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	サンマ、サケの不漁により、漁業、水産加工業で成り立っている沿岸地域は大打撃を受けている。このままでは、水産業で生活している沿岸の経済は、深刻な状況になるのではと危惧している。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	土地の主力である魚(サンマ・サケなど)がとれない。倒産したり、民事再生法の手続きをした会社もある。(名の知れた会社)
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	商工業の再生は広義で人口集中部だけの政策や施策になりがちであり、岩手県を総じた実行度の高い事例が必要であると感じる。釜石での人口減少とそれにとまなう経済の疲弊は、盛岡、矢巾、紫波、北上などの感覚と大きくへだたりがある。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	被災前の地域経済を知らない。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	復興が終わり、これから前へ進もうとしている時にコロナ禍になり、住民が出歩かなくなったため。
わからない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	うちの地区の場合、「自然」相手なので、人間の力で海洋生物を増やせるのであれば、それにつながる活動を徹底的に行って、毎日「神頼み」をする。魚介類が獲れないことには…。
わからない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	被災前も景気が良かったとは言えないので、復興工事が終了して以前に戻った程度と思う。漁業が厳しい状況と思う。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	震災前との単純な比較が難しい。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	コロナや物価高で、この1年間の経済は、かなり悪いように感じる。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	コロナが5類となっても、生活上の制限も多少なりともあり、震災前と比較することが難しいため、分からないと回答した。 温暖化により魚への影響についても、同様。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	コロナ禍の影響の方が大きく見えてわからない。
わからない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	被災前と同じに経済活動をする準備はととのつたが、高齢化、人口減少により、活動自体は低下している。

Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び1年間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	避難路をもっと確保充実する方が良かったのではないかと。防潮堤の整備は十分だが、避難してもらおう方策をもっと進めるべきである。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	工事がおおむね終わったので、達成はした様思う。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	災害に強いハード面は達成したと思う。但し、今後次世代、又は次々世代に今回の整備された各施設は50年後、100年後に負担をかける事が心配される。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	ハード面の整備も完遂したと思われる。今後はそれプラス住民の意識や、訓練のあり方に目を向けていく必要がある。特に有事の際、高齢者対策をどうしていくのが望ましいか懸案事項だと思う。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	生命の安心安全の防波堤工事は、山田湾奥関口川河口付近宝来橋水門工事が完成した。巨大な「宝来橋防波水門」の威容は、命の安心安全が保証されたようである。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	道路整備等、充実したと思う。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤等防災設備はすべて整備された。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	浸水地域の嵩上げ、高台団地への移転、防潮堤の完成等、工事も終わり、皆んな安心して暮している。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤も完成し、見た目には達成したことを感じられる。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤が整備され安全面が強化されたが、防潮堤から避難する道路の通路の不備がある。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	震災からようやく町の防災マップが出来上り、少し安心して生活が出来る様になった。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	・防潮堤は、被災前とは比べものにならない程、強化されたと思う。 ・ハード面だけでなく、宮古市のハザードマップも更新され、住民の防災意識も高まったと感じる。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	港湾設備も整備され、台風災害の復旧工事も完了したから。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	海岸沿いを歩くと、立派な防潮堤が作られていて、津波対策は万全だと感じる。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	ハード面は整ったと思うし、学校等での訓練も定期的実施されている。あとは高齢者(特に要援護者)の避難対策を地域住民とともに取り組むことを継続してほしい。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	津波対策、交通網の整備は完了しており、安全面では充実して来ていると思う。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	日本海溝・千島海溝に伴う地震、津波に関するガイドブックが配布された。津波は完全には防げない。避難することが大事である。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	市民レベルでいえば、防災教育がしっかりなされている子ども達の防災意識は高いが、避難訓練に参加の顔ぶれなどを見ると、大人、特に転勤者や若者の意識は低いと言わざるをえない。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	新しいハザードマップが配布になるなど取り組み強化が感じられる。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	既に数年前に予定された整備事業は完了しているため、1年間の進捗状況に限ってみれば、進んでいない。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	市役所や警察署の移転完了に加えて、防潮堤整備も進んでいる。また、浸水区域の周知も図られている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤塔のハード面の整備が進んだ実感がある。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	安全確保といった予防対策に加え、今後再び災害が発生した場合でも被害を最小限に食い止めるだけの取組、更に地場産業や観光産業の振興、産業を担う人事の獲得・育成といった取組を推進することで、復旧から復興。さらに持続可能なまちづくりを進めることが重要である。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	女	関係者の方々の努力で日々進んでいる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	先の震災の経験をしたにもかかわらず、災害に対する認識が薄れて来ている様に思うので。(住民の方の)行政の方は、安全なまちづくりは目標に達成されている様に思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤の工事も終わり、水門工事がまだまだ先なので、はやく完成してほしい。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤は完成したし、災害に強いまちづくりには進んだと思う。高台には防災倉庫等も用意しており、欲をいえばキリがない。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	高い防潮堤が出来たことで、安心できているように見える。観光客が増えているが、地震津波の際の緊急時における避難体制(徒歩、車避難)が心配です。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	防潮堤や復興道路も完成はしましたが、避難道路他はまだ整備が足りないと思います。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤、水門の整備は完了し、安心感はあると思いますが、今後温暖化により集中豪雨が心配され河川敷の整備が必要と思われます。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	最後まで残っていた、船越湾の防潮堤工事が完了したので、津波に対しては達成した。しかし、東日本大震災時以上の津波はありうるし、堤高自体が足りていないので安心はできない。大雨の被害も、どこでも発生し得る。忘れない様にすることが大切なのは変わらない。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	山を削り高い場所に三陸道が出来、孤立する心配は無くなった。高い防潮堤に囲まれ安心と思われるが、それ以上の高い波が来たら町内全域湖の中とはならないかと…考えてしまう。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	ハザードマップの見直しや、避難訓練の内容も、より充実してきている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤工事も終わり、避難路の整備も終り、工事車両も見えなくなった。ただ、もともとあった道路の傷みがはげしい。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	問1の理由と同じ。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	湾口防波堤や防潮堤の復旧、ハザードマップの整備、学校教育を中心とした防災教育等が進められている。災害に強い安全なまちづくりの為に、住民の訓練参加、防災拠点施設としての新市庁舎の早期建設等が求められる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	町づくりは進んでいる。ゴールまではまだ時間はかかりそうですが、進んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	道路の整備、案内板の設置など、だいぶ進んでいると思ったから。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	安全なまちづくりは、市の防災訓練等を含めて、しっかりなされていると思う。(防潮堤の完成・避難場所の確保・避難経路の提示…) 震災時、幼かった子どもたち、震災後生まれの子どもたちにどう受け継いでいかを、個々…ではなく、大きな括りの中で考える時がきていると感じる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤も整備され、海水浴もできるようになった。海の設備も整い、やや進んだと思う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	ハード面での安全なまちづくりは、日々行われていると感じる。市としての取組も継続して行われている。ソフト面での安全なまちづくりは、震災を風化させないためにも、私たち住民が意識していかなければならないと思う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤・道路等は整備されている。意識面での風化をどれだけ防げるか、の局面になってきていると思う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	市で行った避難訓練に参加した。その時、災害に強い安全なまちづくりをしていると実感したから。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	ハード面はほぼ達成できているのではないかなと思う。工事用車両を見る機会もかなり減ってきているので… それよりも心配なのは、自分も含め、記憶が曖昧になってきていること。今後発生するであろう巨大地震の際に落ち着いて行動できるかどうか不安がある。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	特になし。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	防潮堤の整備は完了したと思うが、震災から13年たち、市民の記憶も失いつつある。改めて避難訓練を行い、命を大切に防災を進めるべきと思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤の工事が終わったが、災害が100%防げるわけではない。命を守る行動を災害発生時にできるように避難場所を職場、家族で共有する事が必要だ。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	防災訓練等を行い災害などに備えて訓練等は実施しているが、いくら防潮堤の整備等を行っても100%と万全とはいえないと思うので、引き続き安全なまちづくりの努力をお願いします。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	市からケアマネージャーに依頼があり、防災帳の作成の取り組みがはじまった。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	・大雨災害や津波浸水想定を踏まえ、迅速な避難支援の為、個別避難計画の作成にとりかかっている。 ・災害時には要支援者の安全確保できる様、協力したいと思う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	100%安全ということはないが、備えとしてはあると安心。防潮堤に中途半端な彩色がされたままの景観をどうするのか疑問です。町のアピールになる内容ならまだ良いですが、目的・テーマ不明で書きかけを放置されているよりは、防潮堤を大きな看板として災害時の避難についてのメッセージを描く方が有効活用と思います。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	三陸復興道路の開通により、安心安全に、最短距離で移動できるようになり、感謝している。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	水門の建設もつづいており、新たな盛岡宮古間の道路起工式も行われた。ハード面はかなり安心感をもてるが、なおさらそれぞれの防災意識の再確認が必要な気がする。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	ハード面はほぼ完成した。ソフト面でいえば震災の風化による防災に対する意識の低下が心配である。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	防潮堤が完成すれば安全なまちづくりは完成する。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	・ハード面の対策は終了した。 ・ハザードマップ等も整備された。 ・新しい想定津波に対するソフト面での対策を早急に進めてほしい。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	すでに防潮堤や三陸復興道路の建設も終わり、その後の変化は見られない。北海道を震源とする地震への備えが不安。特に今、住んでいる地域の被害想定は大きいため。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	一定の整備は終了したと思われる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	大部分の工事は終了しているが、宮古地区では閉伊川水門がまだ完成していない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤が完成し、安全なまちづくりにはなったと思う。だが、海を見ながら生活をしてきたため、海が見えないのは残念に思う。被災した土地についても、活用できる場所と活用できない場所がはっきりしてしまい、明暗が真に見える形になっている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤(防波堤)や乗り越し道路、水門や漁港の人工地盤、そして高台への避難路等が完成し、ハード面は充実してきた。一方、避難に関する訓練や方法等については課題があり、地区住民への周知及び定期的な啓発活動が望まれる。また、台風等による災害対策は十分とは云えず、今後不安を抱えている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	女	正直なところニュースを聞いたり特集番組を見ると怖くなります。最悪な事態とは。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	避難訓練は3月11日にしたら。震災前は3月3日にしていた。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	工事も終了したので達成したと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	海が見えない！
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤は出来たけど、小さな漁港から高台への道が整備されていないので避難方は不完全だと思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	住民の意識を低下させない訓練は継続して行う必要がある。浸水区域に建てた家や商店等、本当に大丈夫かと心配になる時がある。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	ハード面の強化は大きく進んだと思うが、それが本当に安全なまちづくりにつながっているかは判断できかねる。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	地域での避難訓練や災害に対する備えを考えたり、聞いたりする機会が一定数あり、参加している人も一定数いることから、意識はされていると思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	様々な分析から、整備されているようであるが、本当に実感できるのはその時が来た時。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	訓練等の努力はみられるが、インフラ等に関してはまだ不安が残るように思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	(1)及び(2)について、東日本大震災に関連しては達成感はあったし、今後予想される日本海溝・千島海溝巨大地震の被災想定公表によって、各地域で自主防災組織が結成され震災に対する考え方が芽生えてきており良い方向だと思う。ただし、完成した防潮堤や水門は今までの震災を参考としており、今後想定される巨大地震への対応をどうするか具体的な説明もなく不安である。高齢化社会が進展する中で『津波でんでんこで』はないが高齢者の避難等に不安が残る。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	目に見える物が絶対では無いと感じるから。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	嵩上げや港湾整備等により、災害に強いまちづくりに向けた一定の整備は完了したものと思料するが、東日本大震災での想定を大きく超える津波被害を鑑みれば完全な状況とはいえない難いのではないかと。また、進捗状況に関しては、問1同様、インフラ整備の完了もあり、この1年間での進捗はあまりないものと感じている。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	対策に絶対はないことから、ハード面だけではなく、ソフト面の強化、特に避難経路や避難場所を確保しての避難訓練など、頻度を上げて行うべき。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	・被災地区にも公営住宅が建っている。 ・水害には弱い…?(河川周辺の整備ができていところ、これからのところあり)
達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	東日本大震災を踏まえた対策は完了したものと思われるが、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に対するハード面の整備が必要と感じる。
達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	これに関しては、防災の話し合い等定期的に話が持たれてるようで、今まで提案されてきた防災対策がブラッシュアップされている。それと病気により身体が不自由になった方や高齢者が確実に増えているので、地域住民としてしっかり把握していかなければならないと実感している。
達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	津波等の対策は大丈夫だと思うが、台風に対する災害の考え方が疎かだと思う。特に復興で完成した団地や地区の側溝、グレーチングの見直しなど、大雨の際に側溝が水圧でブロックが跳ねたりして、2度と落ちないように対応するべきだが、同じことを何かも出ているので、市町村の対応の悪さが目に見える。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤で海が見えないのは、安全とは限らない。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	震災前との単純な比較が難しい。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	災害は、全ての分野に関わることだが、横断的な連携が出来ておらず、単発的。

令和6年いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発行

令和6年2月19日

岩手県 復興防災部 復興推進課

〒020-8570

岩手県盛岡市内丸10-1

電話 019-629-6935

【自由記載集:掲載にあたって】

- ・自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。
(一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現をあらためています。)